

本日 ここに大阪府立渋谷高等学校創立百周年記念式典を挙げるに当たり、公私ご多用の中、大阪府教育委員会ご代表 大阪府教育庁教育監 橋本光能 様、大阪府議会議員 原田こうじ 様、池田市長 倉田 薫 様をはじめ、各方面から多数のご来賓の皆様並びに本校ゆかりの、PTA、緑友会、みどり会、後援会、旧職員といった関係者の皆様とともに本校の創立百周年をお祝いできますことは、生徒並びに本校職員一同、心から喜びに存じております。厚くお礼申し上げます。

さて、本校は、大正六年、池田町室町に 手芸女学校として開校いたしました。その後、池田技芸女学校、池田市立女子商業学校、池田市立高等女学校と変遷し、戦前戦後の女子教育に大きく貢献いたしました。

昭和二十三年には戦後の新制高校、池田市立高等学校となり、初めて男女共学となります。池田市立渋谷高等学校時代を経て、昭和五十年、府に移管され、大阪府立渋谷高等学校となり、現在に至っております。この間、5回にわたり池田の地で移転を繰り返してまいりましたが、その度に、長きにわたり地元の皆さまのご支援を受け、発展し、これまで、社会に有為な人材を数多く輩出してまいりました。卒業生は各界で活躍されており、輝かしい歴史と伝統を誇る池田の名門伝統校であります。

さて、十年後、五十年後には世の中はどのようなものとなっているのでしょうか。広告業で有名な博報堂がインターネット上に「未来年表」というサイトを開いております。

未来の予測に関連する記事や報告書から「西暦何年には、こうなる」といった情報のみを厳選し、西暦年や分野ごとに整理した未来予測のデータベースであります。

西暦2027年の項目を眺めますと時速500キロのリニア中央新幹線が、東京一名古屋間の所要時間を40分に短縮する。また、20以上の料理をマスターし、8割以上の作業を人に代わってこなす厨房ロボットが開発され、また、農作業を完全自動化するロボット技術が実用化され、そして、自治体と警察が爆発物、兵器、毒物などを迅速に発見する、人間の知覚能力を超えたロボットを配備、稼動するとあります。我々の身の回りにはロボットがあふれ、ロボットと「コミュニケーション」がとれなければ日常生活が不自由となり、仕事に支障をきたす。そんな時代の到来が予測されます。

次期学習指導要領ではコンピュータの言語であるプログラミングが小学校で必修化されます背景にはそのような時代の要請があると考えられます。

また、十年後の2027年には宇宙航空 研究開発機構（JAXA）の探査機が、火星の衛星フォボスの石、砂を地球に持ち帰る。そして、およそ三十年後の2050年までには、日本、アメリカ、ヨーロッパを含む11の国や地域の宇宙研究機関が、火星の有人探査を実現する。さらに、早ければ、およそ四十年後の2056年には米国スペース X 社が、火星に人口100万人の都市を建設するともあります。

世界はいよいよグローバルからユニバーサルへ、すなわち、地球規模から宇宙規模へと移りかわってまいります。

たとえ、宇宙の時代を迎えようとも本校がこれまで校訓に掲げて参りました「自主、友愛、誠実」の精神は、いつの時代にも必要とされる大切なもの―「不易」であります。これからも公民として、責任を重んじ積極的に協力する個人の育成、誠実さを重んじ友愛に徹する人間の育成を続けて参ります。

本校の伝統をこれからも守りつつも、新しい宇宙の時代を目前に控え、天体ドームを屋上に頂く渋谷高校においてこそ、夜空の星を眺め、常に宇宙を身近に感じ、宇宙規模の視野をもった未来人を育成して参りたいと存じます。

教職員一同、これからも本校の教育により一層邁進して参る所存でございます。

今後とも皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが創立百周年を意義深いものとするためにご尽力いただいた創立百周年実行委員会及び関係者の皆さま方に心から厚くお礼申し上げます。

これをもって式辞といたします。

平成二十九年十月二十一日

大阪府立渋谷高等学校 校長 浅尾 悦司